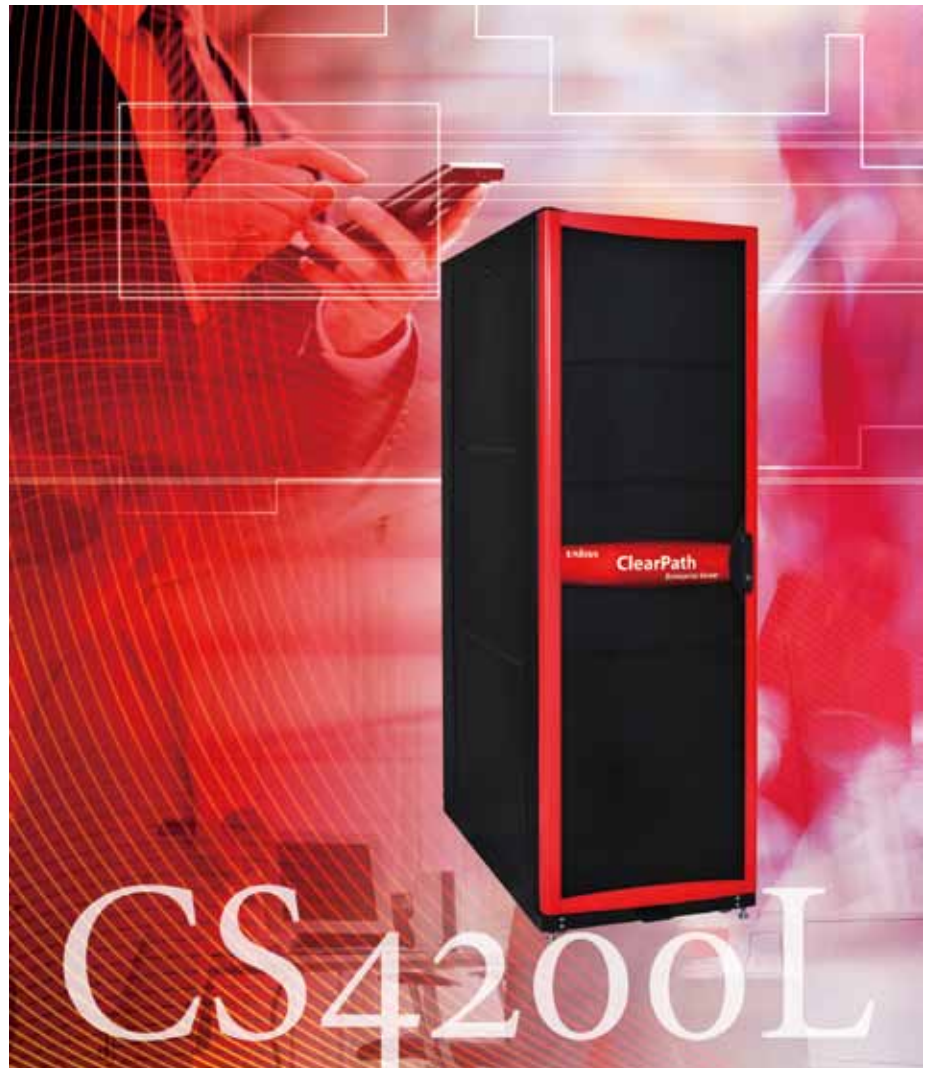


Unisys ClearPath® CS4200L Series CS4280L / CS4290L Server

UNISYS



企業の基幹系システムとして長年に亘り支え続けてきたメインフレームは、今やその領域に留まらず急速に進化するビジネス・デバイスとの連携が求められています。

Unisys ClearPath Server CS4200Lシリーズは、メインフレームの特性である信頼性、可用性、拡張性を継承した堅牢な次世代型プラットフォームに、1961年の提供開始から現在まで改良を続けるオペレーティングシステム (Master Control Program) を搭載、互換性を継続することでお客様のIT資産を守り続けていきます。さらに、スマートフォンなど最新のビジネス・デバイスとのWeb連携を同一プラットフォームで実現することにより、最前線のビジネス環境に適応する、使い易く運用しやすいシステム環境を提供します。CS4200Lシリーズは、あらゆる企業のビジネス・インフラストラクチャとして、お客様の価値創造を実現します。

Unisys独自の仮想化サーバ技術で、メインフレーム環境とオープン環境を単一システム内に融合。最前線のビジネス・デバイスに対応する ClearPath Server CS4200Lシリーズ

基幹系システムに最適な提供モデル

CS4200Lシリーズは、お客様の利用形態に副えるように、従来型の固定性能モデル (CS4280L) と新しい従量制モデル (CS4290L) の2形態で提供します。固定性能モデルは、シリーズ間で48倍の性能拡張性を有しており、お客様のビジネス需要に応じて順次性能を大きくすることが可能です。また、従量制モデルはプロセッサの使用量を契約していただく形態で、ピーク対応として必要なときはいつでも最大性能までお使いいただくことが可能です。両モデルとも、堅牢なメインフレームとモバイル端末やスマートフォンとのWeb連携を同一プラットフォーム上で実現します。また、企業の基幹系システムとして信頼性をさらに高めるため機器構成を二重化したHigh Availability (HA) システムで提供します。

メータリング技術を採用した従量制サーバ

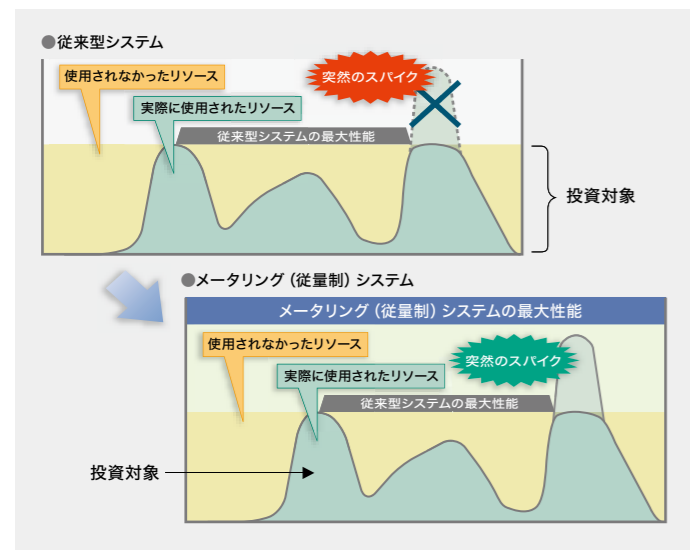
ユニシス独自のメータリング技術により、MCPシステムのプロセッサ使用量を計測・集計・通知し、メータリング (従量制) システムの基盤を支えます。

●ユーティリティ・コンピューティングに対応

CS4290Lでは、MCPシステムのプロセッサ性能を必要なときに必要なだけ、自由にお使いいただけます。実際の使用量に応じて課金するシステムなので、従来型のシステムで提供中のキャパシティ・オン・デマンド (COD) に比べて、より弾力的なユーティリティ・コンピューティングに対応し、一段とパワフルで自由度が高いシステム・リソースの有効活用を可能にします。

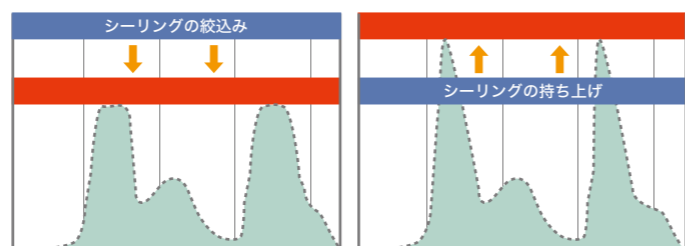
●実稼働に合わせた効率的なシステム投資を実現

CS4290Lでは、実際の使用量に応じて、事前にご契約いただいた性能量からの引き落としや使用料金の精算を行います。短期間または一時的な繁忙期 (スパイク) に備えて高価なシステムを購入するのではなく、業務の繁忙とITコストを連動させ、実稼働に合わせた効率的な投資でシステムを使用することが可能です。



●大型機クラスの最大性能を標準装備

CS4290Lでは、大型機にも匹敵する58,320RPMもの最大システム性能を標準装備し、プロセッサ負荷の重いアプリケーションやバッチ処理もストレスを感じさせることなく動作します。実効的な最大性能 (シーリング) を動的に変更して、予期しないリソース使用を回避したり、処理時間や所要コストを調節したりすることもできます。



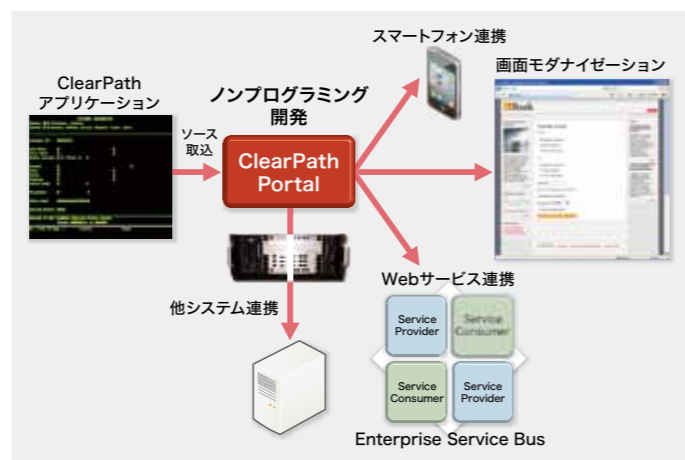
●簡潔でわかりやすいプリペイド方式を採用

あらかじめ所定の期間の予想使用量を一括購入するプリペイド方式の採用により、従量制のシステムでありながら必要なコストを把握しやすく、事前の予算確保や初期投資の平準化が可能です。また、使用量の計測・集計・通知はシステムが自動的に行うので、複雑な運用・管理は不要です。事前にご契約いただいた性能量の費消後や有効期間の満了後も、性能量の追加購入または月次の実績精算により、煩雑な操作や手続きなしにシステムを継続して使用できます。

Web/モバイル連携、モダナイゼーション、開発環境

基幹系アプリケーションをモバイル端末で活用、最先端ビジネスを提供するClearPath Portal

ClearPath Portalは既存システムのモダナイゼーションを支援するWeb連携ソリューションです。従来の専用端末からしかアクセスできなかった基幹系アプリケーションを、付属のDeveloperを用いてノンプログラミングでWebブラウザ、モバイル端末、スマートフォン、Webサービスと連携させることができます。Developerで作成したWebアプリケーションは、CS4200Lメインフレーム上の仮想サーバで実行されるため、セキュリティ対策も万全です。



統合開発/実行環境 ABSuite®登場

ABSuite^{注1)}は、統合アプリケーションを素早く簡単に構築し、統合的に保守・管理が出来るツールです。ABSuiteの開発環境は、Microsoft[®]社のVisual Studio[®]2008にスナップインしています。

■PIM^{注2)}型開発:

稼働対象プラットフォームを意識することなく、データベース連携を含むオンライン・トランザクション、バッチシステムなどを効率的に開発することができます。

■ターゲットとなるシステムは、Microsoft .NET FrameworkとClearPath MCPです。

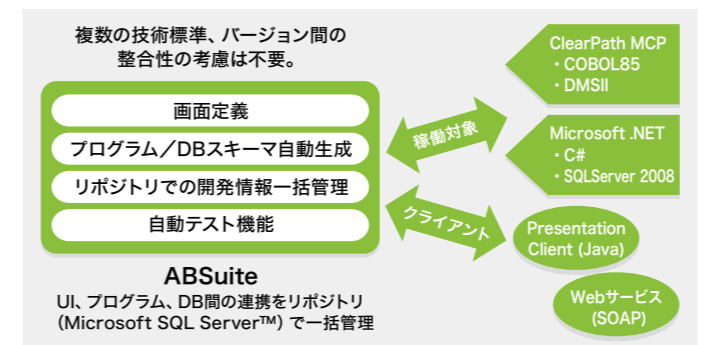
■自動テスト機能を標準でサポート

煩雑で単調な確認作業の負荷を軽減します。

■高生産性スクリプト言語LDL^{注3)}を採用

LINC[®]2000 Developer 3.3で記述されたSW (LDL) 資産からも簡単に移行することができます。

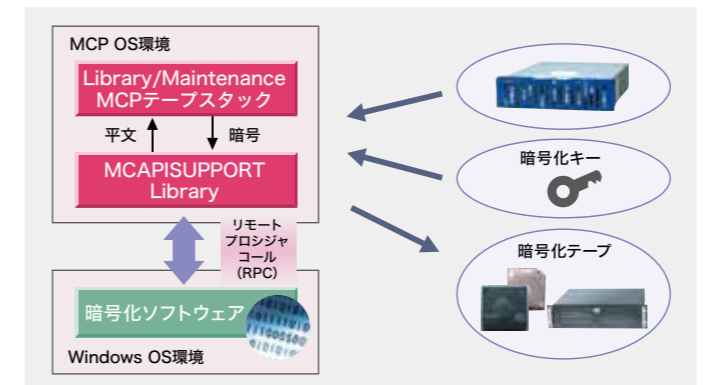
注1) ABSuite : Agile Business Suite 注2) PIM : Platform Independent Model
注3) LDL+ : Logical Definition Language plus



その他の主な機能

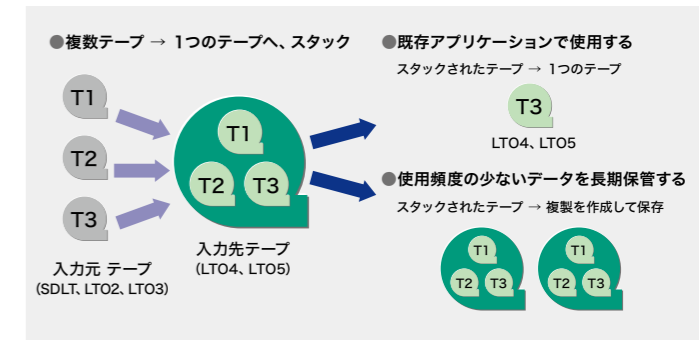
データの暗号化: CS4200Lシリーズのテープ暗号化

CS4200Lシリーズのテープ暗号化機能は、3DESまたはAESに対応する暗号化アルゴリズムに基づいて、安全にCS4200Lシリーズ内のデータをテープに読み書きする暗号化ユーティリティです。MCP OS環境から暗号化/復号化の操作が可能であり、後述するテープスタック機能と併用することで、既存テープ資産を安全かつ効率的に保存することができます。また、テープ暗号化/複合化処理は、別のプロセッサで処理を行いますのでMCP OS環境に負荷をかけることなく効率的に実行することができます。



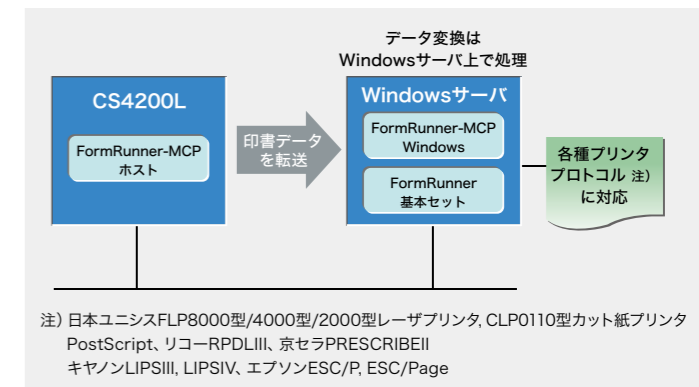
既存テープ資産を集約して保存: MCPテープスタック

複数の既存テープ資産を、大容量テープにまとめて蓄積 (スタック) することができるソフトウェア・ユーティリティです。SDLT (300GB)、LTO2 (200GB)、LTO3 (400GB) などの旧型低容量メディアをLTO4 (800GB)、LTO5 (1.6TB) の最新大容量メディアに集約保存できますので、使用頻度は少なくとも重要なデータを効率的に保管することができます。



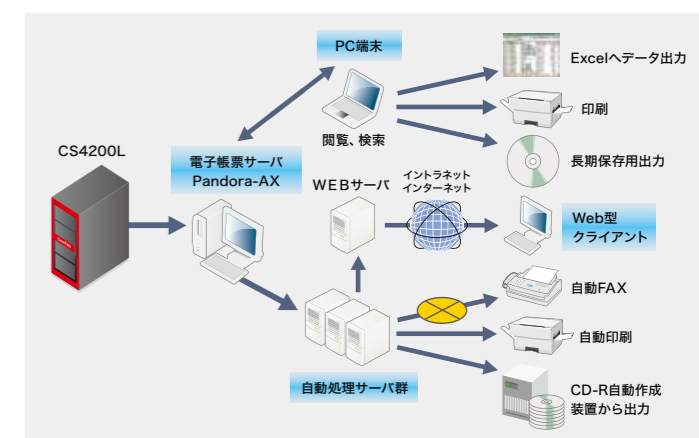
ホスト帳票をオープン系プリンタへ印刷: FormRunner-MCP

FormRunner-MCPは、ホスト上で作成された帳票ファイルをWindowsサーバ経由でオープン系プリンタに印刷するためのソフトウェアです。図に示すような各種のプリンタへ出力できますので、効率的な印書環境を実現することができます。



ホスト帳票を電子帳票に変換: UNIREP[®]-V

電子帳票システム UNIREP-Vは、ホスト上で作成された帳票データを変換しWindowsサーバ上で稼働するPandora-AXサーバに格納、クライアントPCから野線付き表示、検索、印書などを実現するソフトウェアです。



■CS4200L基本ハードウェア装置

| 機種 | Unisys ClearPath® Server CS4200Lシリーズ |
|--------------|---|
| タイプ | ラック型 |
| プロセッサ 注1) | PMM: インテル 8コア・プロセッサ (インテル Xeon Processor 2.9GHz) : 2プロセッサ ISM: インテル 8コア・プロセッサ (インテル Xeon Processor 2.7GHz) : 2プロセッサ OPS: インテル 4コア・プロセッサ (インテル Xeon Processor 2.2GHz) : 1プロセッサ |
| メモリ容量 | PMM: 64GB (ミラー構成: 物理容量128GB) ISM: 32GB (ミラー構成: 物理容量64GB), OPS: 8GB |
| 内蔵ディスク | PMM: 146GB x 4, ISM: 300GB x 6, OPS: 300GB x 4 |
| 最大I/Oスロット数 | PCIe x 4スロット x 2モジュール |
| OS環境 | ClearPath MCP Release 15.0 以上 |
| 外形寸法 (mm) | ラックキャビネット: 609.6 (W) x 1115.4 (D) x 1948.7 (H) (40U) |
| 本体重量 注2) | 約 311 kg (PMM/ISM: 29.5kg, OPS: 19.3kg) |
| 電源 | 50-60Hz 単相200V |
| パワーサプライ | PMM: 1100W x 2 ISM: 1100W x 2 OPS: 350W x 2 |
| 発生熱量 (BTU/時) | PMM: 820 BTU/時, ISM: 1000 BTU/時, OPS: 300 BTU/時 |
| エネルギー消費効率 | PMM: 対象外 注3) ISM: 対象外 注3) OPS: 区分I 0.84 (A) |
| 環境温度 | 動作時: 13°C ~ 35°C |
| 環境湿度 | 1時間あたり最大10%の湿度変化で10%から80% (結露しないこと) |

■磁気テープ装置

| 項目 | ALP 64型 |
|----------|-------------------------|
| インターフェース | ファイバーチャネル (4GB) |
| ドライブ | LTO Ultrium4 |
| データ転送速度 | 120MB/秒 (非圧縮、ドライブ1台当たり) |
| 記録方式 | 896トラック シリアルサーバタン |
| 記録容量 | 800GB (非圧縮) |
| 収納巻数 | 30 |

■LAN直接接続用通信制御装置

| 名称 | Gigabit Eth-NIC |
|-----------|-----------------|
| ホストとの接続形態 | 内蔵 |
| 最大回線速度 | 1000Mbps |
| 最大制御回線数 | イーサネットLANで16回線 |
| プロトコル | TCP/IP |

注1: CS4200Lシリーズは、次のモジュールで構成されています。

PMM: Processor Memory Module
ISM: I/O and Speciality Engine Module
OPS: Operation Server

注2: 本体重量は、CS4200L-HAシステム標準搭載構成での表記です。

注3: エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能 (GTOPS) で除したものです。

■ディスク・アレイ装置

| 項目 | | SANARENA 130 | |
|--------------------------|--|--|--|
| 型名 | HJPP 130/132-SSA, HJPP 132-SLA | | |
| ホスト・インターフェース | 転送速度 | Fibre Channel 最大8Gbps | |
| | ポート数 | 16ポート | |
| 搭載可能ディスク | SAS | 形式 | 2.5型: 200GB/400GBフラッシュドライブ、300GB 15k回転ディスクドライブ 300GB/600GB/900GB 10k回転ディスクドライブ、 3.5型: 2TB/3TB 7.2k回転ディスクドライブ |
| | | インターフェース | SAS (Serial Attached SCSI) (最大6Gbps) |
| RAID方式 | RAID1/RAID1+0/RAID5/RAID6 | | |
| キャッシュ容量 | 8GB/コントローラ | | |
| | データ保持 注1) | 停電時は専用領域へ内蔵バッテリーにより退避 | |
| 外形寸法 (mm) | W (幅) x D (奥行き) x H (高さ) | 483x770x88.4 | |
| 質量 (最大) 注2) | 約40kg (2.5型用) / 約44kg (3.5型用) | | |
| 電源条件 | 電圧: 単層AC100~120VまたはAC200~240V +6% / -11% | | |
| 省エネ法に基づく表示 (2011年度規定) | 区分 | N | |
| | エネルギー消費効率 | 0.015 (2.5型搭載時) / 0.0064 (3.5型DBL搭載時) / 0.0060 (3.5型DBX搭載時) | |

注1: 停電時には、キャッシュメモリーに保存済みのデータを、バッテリーにより退避領域に保存するため、データの損失がありません。尚、書き込み途中のデータは、保存されないため、データの経路を含め、無停電電源 (UPS) を使用し、システム全体の保全を行うことを推奨します。また、UPSを使用せず、バッテリー容量が空となった場合、停電後、約3時間は、ライトスルーで動作するため、装置性能が大幅に低下します。

注2: 最大構成 (搭載可能なディスク、冗長コントローラなど全てを搭載) における質量を示します。

■日本語印書装置

| 名称 | 8000型レーザープリンタ | 4000型レーザープリンタ | 2000型レーザープリンタ | |
|-----------|-----------------|-----------------|------------------|--------------------|
| ホストとの接続形態 | イーサネット (TCP/IP) | イーサネット (TCP/IP) | イーサネット (TCP/IP) | |
| 印字方式 | LED書込み乾式電子写真方式 | LED書込み乾式電子写真方式 | レーザー・ビーム電子写真方式 | |
| 印字速度 | 8,250行/分 | 4,000行/分 | 2,550行/分 | |
| 印字用紙幅 | 6.5~18インチ | 6.5~18インチ | 6.5~16インチ | |
| 用紙サイズ | — | — | — | |
| 名称 | 0550型リモートプリンタ | 0205型リモートプリンタ | 0850型リモートプリンタ | 0110型カット紙プリンタ |
| ホストとの接続形態 | イーサネット (TCP/IP) | イーサネット (TCP/IP) | イーサネット (TCP/IP) | イーサネット (TCP/IP) |
| 印字方式 | インパクト・ドットライン方式 | インパクト・ドットライン方式 | ドットマトリクス・インパクト方式 | 半導体レーザー乾式2成分電子写真方式 |
| 印字速度 | 530行/分 | 205行/分 | 150字/秒 | 110ページ/分 (A4片面・両面) |
| 印字用紙幅 | 3.5~16インチ | 3.5~16インチ | 3~16インチ | — |
| 用紙サイズ | — | — | — | A3, A4, B4, B5 |

※ABSuite、ClearPathおよびLINCは、Unisys Corporationの登録商標です。

※FormRunnerは、三菱電機株式会社の登録商標です。

※Intel、インテルおよびXeonは、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Pandora-AXは、株式会社NTTデータビジネスブレインズの登録商標です。

※SANARENAおよびUNIREPは、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※Microsoft、WindowsおよびSQL Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

※その他記載されている製品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。

日本ユニシス株式会社

●お問い合わせ先

本社 東京都江東区豊洲1-1-1 135-8560

電話 03-5546-4111 (大代表)

http://www.unisys.co.jp/